JAバンク富山

JAバンク富山における地域密着型金融の取組状況（2025年度）

2026年10月

JAバンク富山

はじめに

✓JAバンク富山（富山県下14JAと農林中央金庫富山支店）では、農業と地域社会に貢献するため、2025年度～2027年度JAバンク富山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

✓2025年度の地域密着型金融の取組状況について、取りまとめましたので、ご報告いたします。

JAバンク富山

目次

１.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 ・・・P.3

２.担い手の経営のライフステージに応じた支援 ・・・P.11

３.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供 ・・・P.17

４.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 ・・・P.19

1.農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

1-1　農業融資商品の適切な提供・開発
1-2　農業融資への利子補給の実施
1-3　担い手のニーズに応えるための体制整備
1-4　JA内事業間連携の強化

JAバンク富山

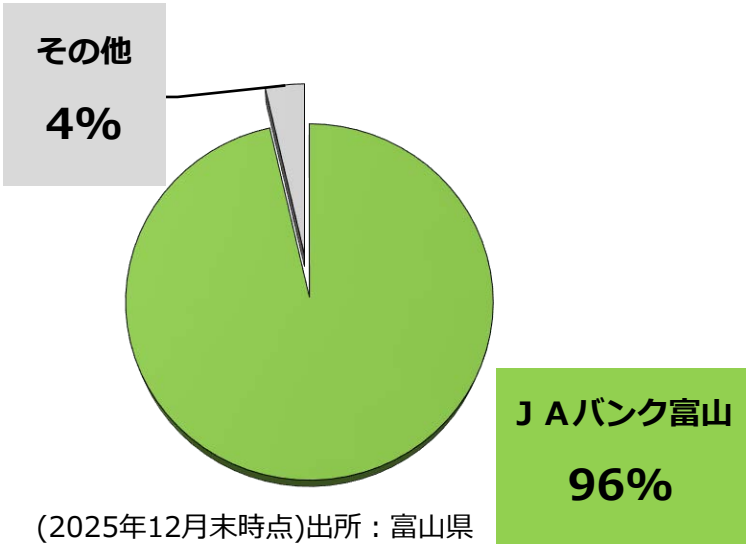
1-1　農業融資商品の適切な提供・開発

✓JAバンク富山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

✓2026年3月末時点のJAバンク富山の農業関係資金残高は（注1）**約90億円**、日本政策金融公庫等の受託貸付金残高は（注2）**約59億円** 取り扱っております。

✓特に農業近代化資金の取扱いにおいてはトップシェアを誇っております。

【富山県の農業近代化資金取扱シェア】



(2025年12月末時点)出所：富山県

（注1）農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（注2）JAバンク富山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫等の貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

JAバンク富山

【営農類型別農業資金残高】 (単位:百万円)

営農類型	2026年3月末
農業合計	6,960
うち穀作	2,611
うち野菜・園芸	107
うち果樹・樹園農業	196
うち工芸作物	-
うち養豚・肉牛・酪農	144
うち養鶏・鶏卵	86
うち養蚕	-
うちその他農業（注1）	3,816
農業関連団体等 （注2）	2,076
合　計	9,036

（注）各数値において、百万円以下の端数については、四捨五入をしており、合計値と異なる場合がございます。

（注1）その他農業には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）農業関連団体等には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位:百万円)

種　類	2026年3月末
プロパー農業資金（注3）	5,882
農業制度資金 （注4）	3,154
うち農業近代化資金	2,946
うちその他制度資金（注5）	209
合　計	9,036

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

種　類	2026年3月末
日本政策金融公庫資金 (注6)	5,871
その他	0
合　計	5,871

(注3) プロパー農業資金とは、JAバンク富山原資の資金を融資しているもののうち、 制度資金以外のものをいいます。

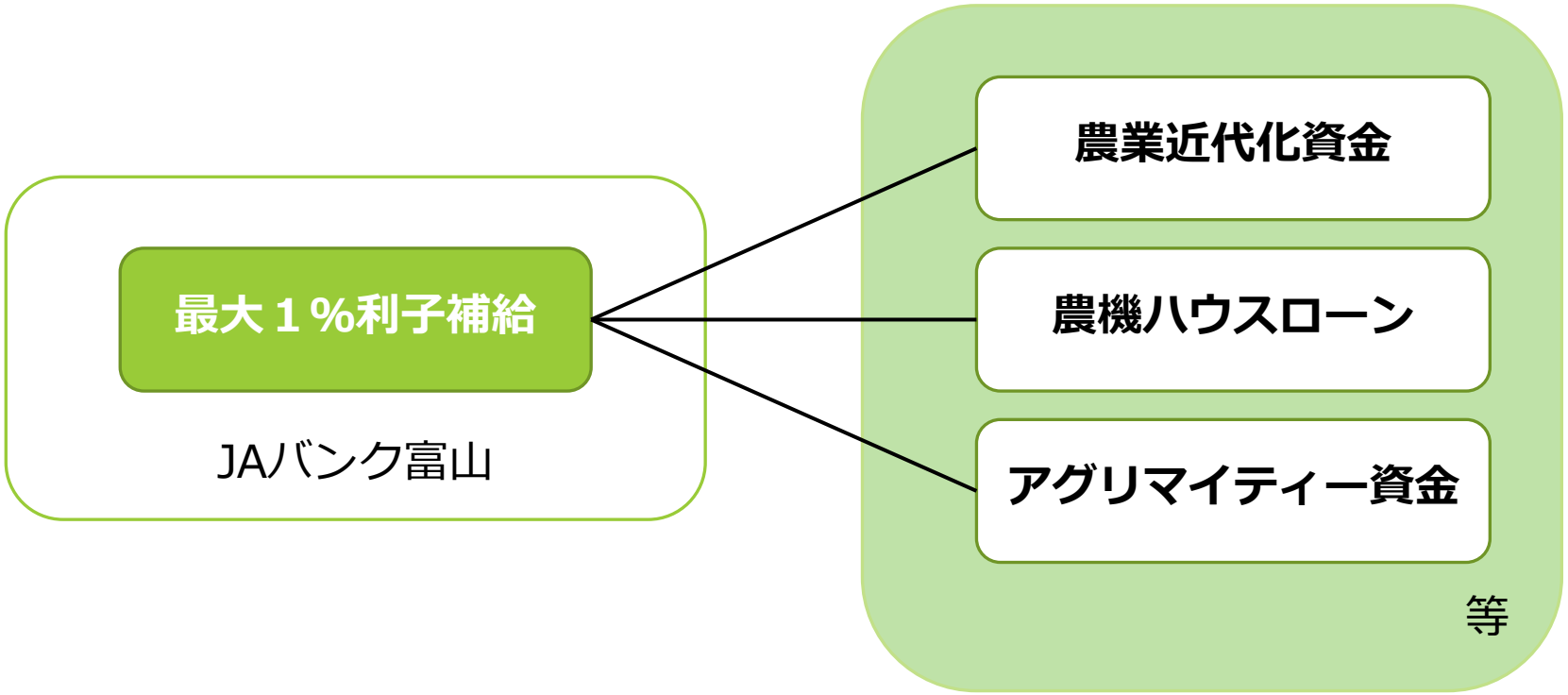
(注4) 農業制度資金は、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク富山が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が融資するものがあり、ここでは①および③の転貸資金と②を対象としています。

(注5) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(新スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

(注6) JAバンク富山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

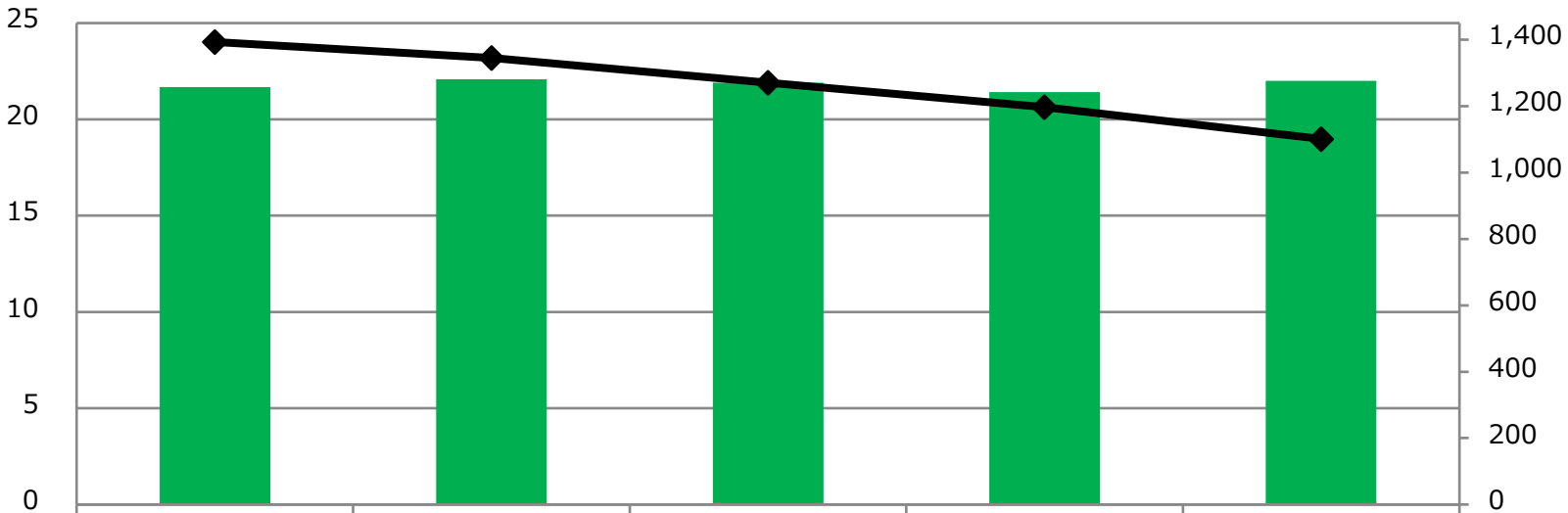
1-2　農業融資への利子補給の実施

✓JAバンク富山は、農業振興等に貢献するため、農業融資を対象に最大1%の利子補給を行い、農業の担い手をサポートしております。



✓2025年度は県内14JAで、**1,006件/22百万円**の利子補給を実施いたしました。

利子補給(助成)実績推移



	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
金額(百万円)	22	22	22	21	22
件数(件)	1,393	1,345	1,270	1,197	1,101

JAバンク富山

1-3　担い手のニーズに応えるための体制整備

✓JAバンク富山では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

✓県内JAには、14JAに**44名**の「担い手金融リーダー（農業融資担当者）」が配置されており、県内担い手からの農業融資に関する相談対応や、各種訪問・資金提案活動を実施しております。

✓農林中央金庫富山支店では、JAサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う部署を創設し、JAグループとしての金融仲介機能の拡充、強化に取り組んでおります。

✓ 富山県JAグループでは、中央会・農林中央金庫・全農・共済連が一体となって「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

JAバンク富山

【具体的取組事例：富山県での農業者向け農機展示会への出展】

経緯	・県内農業者との接点拡大および農業融資の推進に向け、JAバンク富山として農機展示会へ出展。 ・来場農業者へのアンケートを通じ、借入ニーズ等の把握を実施しました。
概要	・来場農業者を対象に、設備投資・借入ニーズや経営課題に関するアンケートを実施。 ・あわせて、㈱フェイガーが展開するカーボンクレジット事業を紹介。水稲の中干し延長による温室効果ガス削減をクレジット化し、販売収益を農業者へ還元する仕組みを周知しました。
効果	・借入ニーズに関する有効回答267件、カーボンクレジットに関する有効回答50件を獲得。 ・農業者からは、JA資金の活用や将来の設備投資に関する相談意向が寄せられたほか、水稲生産以外の新たな収益機会としてカーボンクレジットへの関心を得ることができました。 ・アンケートに回答いただいた来場者（農業者）からは、「JAには、低金利で借入できる様々な資金があることがよく分かった。」「直近1年以内に借入予定があるが、近くのJAへ借入れについて相談したい。」等、好意的なご意見をいただきました。

【農業者向け農機展示会での様子】



【ブース出展の様子】



【（株）フェイガーご担当者による説明 】

1-4　JA内事業間連携の強化

✓JAバンク富山では、農業者の多様なニーズにJAグループ全体をあげて応えるべく、これまで以上にJA内事業間連携の強化に取り組んでおります。

【具体的取組事例】

融資部門・営農部門・農機具部門の各部門職員にて、毎月1回情報共有会議を実施。
融資部門主催にて、営農指導員・農機部門職員を対象とし、信用部門以外での農業融資人材の育成強化に向けた勉強会をJA内部にて実施。
JAの本支店所属を問わず、営農指導員やTAC担当者による訪問活動で得られた情報について、JA本店融資部門へ積極的に共有してもらい、本店にて見込案件のアプローチ状況を一元管理できる体制を整備。
融資部門担当者・TAC担当者での同行訪問による借入ニーズの調査・見込先への資金提案を実施。
JA管内農業者向けにアンケート調査を実施。アンケートに「将来的な設備投資にかかる計画」の欄を設け、得られた情報を各部門へ情報共有し、農業融資のみならず農機購入シェアの向上につなげる。

2.担い手の経営のライフステージに応じた支援

2-1　新規就農者の支援
2-2　生産者と消費者をつなげる場の設定
2-3　災害等の被害を受けた方への支援
2-4　経営不振農業者の経営改善支援

2-1　新規就農者の支援

✓JAバンク富山では、新規就農者の経営規模拡大および経営安定化をサポートするため、青年等就農資金の取扱いを行っております。

【2025年度　新規就農者を支援する資金の融資実績】

（単位：件、百万円）

資金名	実行件数	実行金額	2026年3月末残高
青年等就農資金(※)	25	162	968
就農支援資金	-	-	1
合計	25	162	969

※青年等就農資金とは、2014年度に取扱いとなった日本政策金融公庫資金(就農支援資金は青年等就農資金取扱いにより廃止)。

✓県下JAでは、新規就農者の経営をサポートするため、各種資金の融通、補助金の受給申込サポート等を行っております。

【県下JA新規就農者サポート事例】

JA名	サポート名	内容
JAみな穂	就農相談対応・資金対応	管内担い手の新規就農に関する相談対応、新規就農者向け資金の融通。
JAくろべ	資金相談への対応	新規就農者向けに青年等就農資金等の融資支援。
JAアルプス	営農資金の融資	新規就農者への運転・設備資金の資金提案および借入申込手続のサポート。
JA富山市	営農資金の融資・助成	新規就農者における青年等就農資金活用推進、県庁等公共機関の提供する補助金、助成金の情報提供および受給申込のサポート。
JAなのはな	営農資金の融資	新規就農者への運転・設備資金の融資。
JA高岡	新規就農者の研修受入れ	研修先の紹介および補助金の申請事務支援等。 就農後の農地紹介も実施。
JA氷見市	経営指導・情報提供	新規就農者への経営指導や、関係機関（市・振興センター等）を集めての情報交換会等を開催。
JAとなみ野	新規就農者研修の実施	HP等で農業に関心のある方を募集し、新規就農に向けたJAの作業研修や担い手への実地研修等を実施。
JA福光	営農資金のつなぎ融資	青年等就農資金などの日本政策金融公庫資金を利用する際、資金化までに日数がかかるため、一時的な資金を補うためのつなぎ資金を融資。

2-2　生産者と消費者をつなげる場の設定

✓JAバンク富山では、生産者と消費者をつなげる様々な交流イベントを開催し、好評をいただきました。

【主なイベント開催状況】

JA名	イベント名	開催日（年月日）	内容
ＪＡうおづ	農業祭	2025年11月8日～9日	農産物等の販売実施を通じて販路支援および地域の農業者-消費者のつながり強化を目指した。
ＪＡ富山市	直売所でのイベント実施	適宜実施	新米イベント等を直売所にて実施し、新米の管内での普及促進に取組んだ。
	JA秋の大感謝祭	2025年11月8日～9日	農産物等の販売実施を通じて、販路支援および消費者における地産地消の意識醸成を図った。
ＪＡ高岡	2024たかおか食彩フェア	2025年11月9日	管内農産物の販売等を通じ、生産物の流通活性化を支援。
ＪＡ氷見市	ひみ食彩祭り	2025年10月26日	青果・加工品等を路面店にて販売。
ＪＡとなみ野	農業まつり	2025年11月15日～16日	地元農産物の直売、地域住民との交流を通じたJA×農業者×地域住民のつながり強化を図った。
ＪＡなんと	なんと酒米サミット	2025年7月17日	酒米の実需者である酒造メーカー販売店と生産者の交流会を実施。
	JAなんと農業祭	2025年11月9日	農産物品評会、旬野菜販売、小・中学生「書道・図画・作文」作品展示・展示会等を実施。
ＪＡいなば	おおさかパルコープふるさと体験ツアー	2025年9月20日～21日	春に田植を行った稲の稲刈りおよび親睦会を実施。

JAバンク富山

2-3　災害等の被害を受けた方への支援

✓JAバンク富山では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた農業者や資材・物価高により影響を受けた担い手を支援するため、災害対策資金の創設や利子補給・保証料助成制度活用等により資金融通・償還条件の緩和を実施いたしました。

【2025年度　取組事例】

（単位：千円）

取組事例	JA名	内容	件数	対応金額
アグリマイティー資金（米価対策災害緊急資金）	JAバンク富山	新型コロナウイルス感染症拡大の長期化による影響を受けた農業者を支援するため、「アグリマイティー資金（米価対策災害緊急資金）」を制定し、県域全体での貸付限度額（10億円）に対して利子補給を実施しました。	216	1,877
災害緊急特別対策利子補給（物価高対策）	JAバンク富山	ウクライナ情勢悪化に伴う原油価格・農業資材価格等高騰による影響を受けた農業者を支援するため、利子補給を実施しました。	30	871

JAバンク富山

2-4　経営不振農業者の経営改善支援

✓JAバンク富山では、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【2025年度　農業者の経営改善支援等の取組み実績(注1)】

（単位：先数・%）

		期初経営改善支援取組先(注2) A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数(注3) b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数(注4) c	再生計画策定率 = a／A	ランク アップ率 = b／A
正常先①		0	0		0	0	
要注意先	うちその他要注意先②	8	1	3	5	12.5%	37.5%
	うち要管理先③	0	0	0	0	0.00%	0%
破綻懸念先④		3	1	1	2	33.3%	33%
実質破綻先⑤		3	3	1	2	100.0%	33%
破綻先⑥		0	0	0	0	0	0
	小計(②～⑥の計)	14	5	5	9	35.7%	35.7%
合　計		14	5	5	9	35.7%	35.7%

（注１）農業所得が主となる農業者を対象として、JAの事業年度で集計しています。
（注２）経営改善支援取組先とは、JAが条件緩和や再生計画の策定など経営改善支援に取り組んでいる先をいいます。
（注３）期末に債務者区分がランクアップした先とは、期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。
（注４）期末に債務者区分が変化しなかった先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

3.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

3-1　負債整理資金による経営支援

3-1　負債整理資金による経営支援

✓JAバンク富山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【2025年度　負債整理資金貸出実績】

(単位：百万円)

資金名	2026年3月末残高
JA農業経営維持継続資金	178
農業振興農業経営安定資金特別枠	32
経済貸越借換資金	4
大家畜・養豚特別支援資金（注１）	40
農業経営負担軽減支援資金（注２）	0
その他（注３）	8
合　計	262

（注１）大家畜・養豚特別支援資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
（注２）農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
（注３）その他は、県独自の制度資金や、制度資金以外のプロパー資金（要綱資金、独自資金）による借換資金などが該当します。

4.農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

4-1　食・農への理解促進

4-2　農山漁村等地域育成への貢献

4-1　食・農への理解促進

✓JAバンク富山は、小学生の農業に対する全般的な理解促進を図るため、「JAバンク食農教育応援事業」の一環として、農業に関する教材「農業とわたしたちのくらし」配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

✓教材「農業とわたしたちのくらし」は、JAバンク富山を通じて、2025年度には県下の国公立小学校・義務教育学校および特別支援学校計**187校**へ**9,235冊**を配布し、各教育機関の授業等において活用されております。



【児童用】



【教師用】

4-1　食・農への理解促進

✓私たちの生活を維持・発展させてゆくために欠かせない「食」とそれを生み出す農業の概要、農業を取り巻く環境および安定した農産物の供給に向けた流通や農産物価格の決め方等について多面的に学習してもらうことで、小学生のうちから農業全般に対する理解を多面的に広げていくことを目指します。



【教材本贈呈式の様子】

JAバンク富山

4-2　農山漁村等地域育成への貢献

✓県下JAでは、講演会・セミナー等の開催、地域貢献活動などの幅広い実践活動に取り組んでおります。

【地域貢献活動事例】

JA名	イベント名	内容
ＪＡアルプス	学校給食へ新米贈呈	JAアルプス管内で収穫された新米を管内市町村へ寄贈し、学校給食で子供たちに地元の新米を食べてもらった。
ＪＡ富山市	農業体験	小学生に学校田の実施や田植えや稲刈り等の農業体験を行い、地域の子供たちの交流を図ることで「農業」への知識・理解を深める取り組みを行っている。
	パックご飯の寄贈	JA富山市固有品種「ゆうだい21」のPR・販売拡大を目的に、老人ホーム等管内施設へのパックご飯の寄贈を実施した。
ＪＡなのはな	被災地支援活動	能登半島地震において被災した氷見地区にて、ボランティア活動を実施。
	地域イベントの宣伝・広告協力	地域イベントの宣伝・広告を各店舗にて掲示。
ＪＡ高岡	バケツ稲の栽培	地域の保育園・小学校と提携し食農教育活動に取り組んでいる。
	米ニュケーション田	次世代を担う子供たちに実際に農作業を体験してもらい、農業の大切さを学ぶきっかけづくりとしている。
	地元プロスポーツチームとのコラボ企画	富山サンダーバーズとのタイアップ企画として、農作業体験を実施。地域の子供たちに地産地消への理解促進とスポーツ振興など広める。
ＪＡ氷見市	氷見市への寄付 （保育園・認定こども園の給食に充当活用）	子育て支援の一環として、食育および食文化の振興に役立ててもらうことを目的に「氷見はとむぎ茶」の売上金より 500 万円を寄付（累計 1 億 4000 万円）。 氷見市では市内全 13 か所の保育園、認定こども園の給食にて地元氷見産コシヒカリを使用する「あったかご飯給食事業」へ充当活用する。
JAとなみ野	農福連携に向けた作業受委託等の仲介	支援学校の生徒と農業者をマッチングし、作業受委託等を仲介。
ＪＡいなば	スポーツ振興の為の寄付、物品寄付	JAいなばにて販売している「富山はとむぎ茶」（ペットボトル）販売代金の一部を活用し、小矢部市・高岡市それぞれにスポーツ振興の為の物品を寄付。